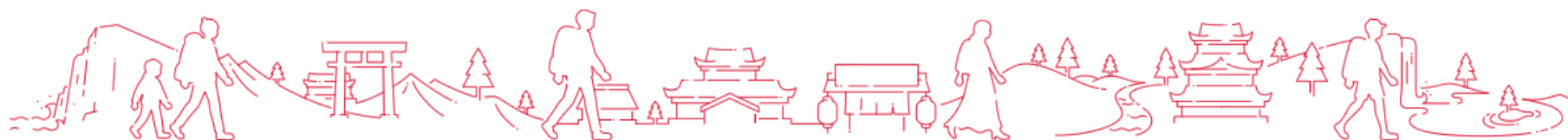




関西観光本部の概要について

一般財団法人関西観光本部

2023年8月16日改定



1. 組織概要

関西2府8県（福井県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、徳島県）を対象エリアとした関西唯一の**広域連携DMO**です。

関西の自治体、経済団体、観光振興団体、観光関連を中心とした民間事業者等が参画し、府県や官民の枠にとらわれない組織として、その自由度と広域性を発揮しながら、**関西広域でのインバウンドをはじめとする、観光振興**に取り組んでいます。

※ 2017年4月設立、2017年11月に観光庁に「広域連携DMO」として登録

DMO = Destination Management/Marketing Organization

2. 構成団体

[自治体]

関西広域連合（滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、徳島県、京都市、大阪市、堺市、神戸市）
福井県、三重県

[経済団体]

関西経済連合会、関西経済同友会、京都経済同友会、神戸経済同友会、京都商工会議所、大阪商工会議所、神戸商工会議所、堺商工会議所、京都府商工会議所連合会、大阪府商工会議所連合会、兵庫県商工会議所連合会、滋賀県商工会議所連合会、奈良県商工会議所連合会、和歌山県商工会議所連合会、鳥取県商工会議所連合会、徳島県商工会議所連合会、福井県商工会議所連合会、三重県商工会議所連合会

[業界団体・事業者]

日本旅行業協会関西支部、日本観光振興協会関西支部、関西エアポート株式会社

[観光推進団体]

びわこビクターズビューロー、京都府観光連盟、大阪観光局、ひょうご観光本部、奈良県ビクターズビューロー、和歌山県観光連盟、鳥取県観光連盟、徳島県観光協会、福井県観光連盟、三重県観光連盟、京都市観光協会、京都文化交流コンベンションビューロー、堺観光コンベンション協会、神戸観光局

[その他の官民連携団体]

歴史街道推進協議会、関西・大阪21世紀協会

3. オブザーバー

近畿総合通信局、外務省大阪分室、近畿財務局、近畿農政局、近畿経済産業局、近畿地方整備局、近畿運輸局、近畿地方環境事務所、日本貿易振興機構大阪本部、中小企業基盤整備機構近畿本部、文化庁

1	（公社）福井県観光連盟	21	（一社）近江ツーリズムボード	41	（一社）あこう魅力発信基地
2	（株）まちづくり小浜	22	（一社）近江八幡観光物産協会	42	（一財）奈良県ビクターズビューロー
3	勝山市観光まちづくり（株）	23	（公社）長浜観光協会	43	斑鳩産業（株）
4	三方五湖DMO（株）	24	（一社）比叡山・びわ湖DMO	44	（一社）吉野ビクターズビューロー
5	（一社）DMOさかい観光局	25	（公社）京都市観光協会	45	（公社）和歌山県観光連盟
6	（一社）越前町観光連盟	26	（一社）京都府北部地域連携都市圏振興社	46	（一社）田辺市熊野ツーリズムビューロー
7	（公社）三重県観光連盟	27	（一社）森の京都地域振興社	47	（一社）南紀白浜観光協会
8	伊勢まちづくり（株）	28	（一社）京都山城地域振興社	48	（一社）高野山麓ツーリズムビューロー
9	（一社）相差海女文化運営協議会	29	（一社）南丹市美山観光まちづくり協会	49	（一社）和歌山市観光協会
10	（公社）伊勢志摩観光コンベンション機構	30	（公社）京都府観光連盟	50	（一社）紀の川フルーツ観光局
11	（一社）伊賀上野観光協会	31	（公財）大阪観光局	51	（一社）高野町観光協会
12	（一社）菰野町観光協会	32	（一社）KIX泉州ツーリズムビューロー	52	（株）南紀白浜エアポート
13	（一社）明和観光商社	33	（一社）東大阪ツーリズム振興機構	53	（一社）那智勝浦観光機構
14	（一社）鳥羽市観光協会	34	（一社）泉佐野シティプロモーション推進協議会	54	（一社）紀州の環
15	（一社）東紀州地域振興公社	35	（一社）くらわんか観光マネジメント	55	（一社）麒麟のまち観光局
16	（一社）大紀町地域活性化協議会	36	（公社）ひょうご観光本部	56	（一社）鳥取中部観光推進機構
17	（一社）志摩市観光協会	37	（一財）神戸観光局	57	（一社）中海・宍道湖・大山圏域観光局
18	（公社）伊勢市観光協会	38	（一社）豊岡観光イノベーション	58	（一社）イーストとくしま観光推進機構
19	大台町商工会	39	（一社）淡路島観光協会	59	（一社）そらの郷
20	（公社）びわこビクターズビューロー	40	（公社）姫路観光コンベンションビューロー	60	（一社）四国の右下観光局
				61	（一社）美馬観光ビューロー

1. 評議員（5名）

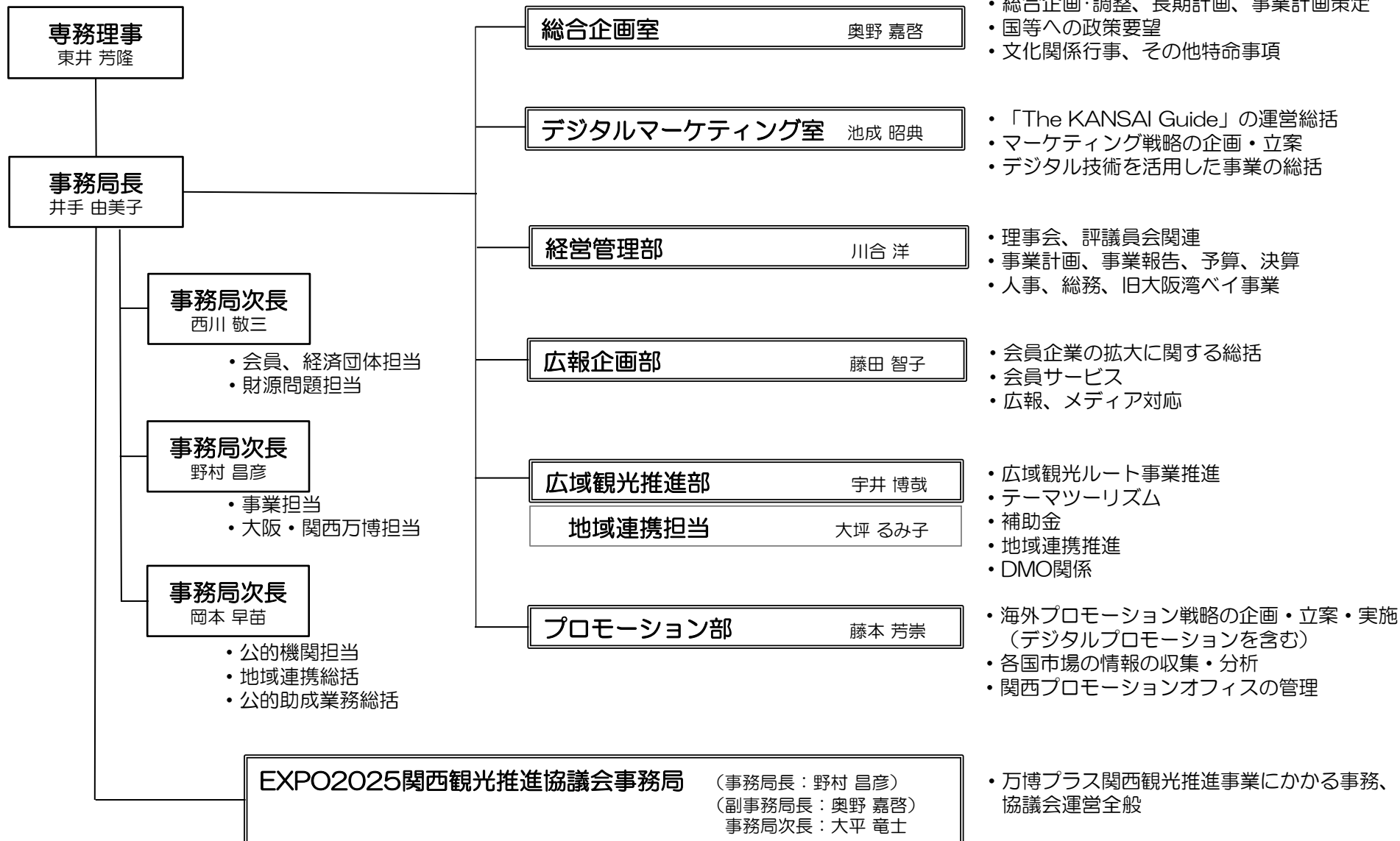
議長	秋山 喜久	関西広域連合協議会 会長
	廣瀬 茂夫	一般社団法人関西経済同友会 常任幹事・事務局長
	井内 摂男	大阪商工会議所 専務理事
	片山 安孝	兵庫県 副知事
	岡田 憲和	京都市 副市長

2. 理事（14名）

理事長 (代表理事)	松本 正義	公益社団法人関西経済連合会 会長（住友電気工業株式会社 代表取締役会長）
副理事長	三日月 大造	関西広域連合 広域連合長（滋賀県知事）
副理事長	西脇 隆俊	関西広域連合 副広域連合長（広域観光・文化・スポーツ振興担当）（京都府知事）
副理事長	角 和夫	公益社団法人関西経済連合会 副会長（阪急電鉄株式会社 代表取締役会長）
理事	福島 伸一	公立大学法人大阪（大阪公立大学）理事長
	市政 誠	大阪府 府民文化部 都市魅力創造局長
	折原 真子	大阪市 経済戦略局 理事
	永田 美穂子	京都商工会議所 産業振興部長
	大塚 隆生	神戸商工会議所 地域政策部長
	早乙女 実	株式会社三菱UFJ銀行 取締役副頭取執行役員（代表取締役）
	小室 孝裕	株式会社大丸松阪屋百貨店 執行役員 大丸大阪・心斎橋店長
	野口 礼子	関西広域連合 広域観光・文化・スポーツ振興局長（京都府商工労働観光部 観光政策監）
	井手 由美子	一般財団法人関西観光本部 事務局長（京都府）
専務理事 (代表理事)	東井 芳隆	一般財団法人関西観光本部（西日本旅客鉄道株式会社）

3. 監事（3名）

土井 典	関西広域連合 本部事務局長
保田 亨	新関西国際空港株式会社 代表取締役社長
西野 裕久	有限責任あずさ監査法人 パートナー



総括

- 「関西ツーリズムグランドデザイン2025」に基づき、①広域観光圏“KANSAI”を世界に発信、②地域を磨く・つなぐ、③新たな魅力を創る、④観光のパラダイムシフトへの対応と観光インフラの強化、という4つのアクションプランを活動の柱として、コロナ情勢を見極めながら、広域観光8ルートの整備等、地域との連携事業等、各種の事業を企画、推進。10月の水際対策緩和を踏まえ、プロモーション活動を再開。
- 大阪・関西万博に向け、「万博プラス関西観光推進事業」を企画。推進体制として、関西の官民で構成する「EXPO2025関西観光推進協議会」（事務局：関西観光本部）を3月に設立。

〔1〕広域観光圏“KANSAI”を世界に発信

- ①関西観光情報発信サイト「The KANSAI Guide」の充実強化
- ②重点市場における海外プロモーション
 - ・イギリス・フランス・台湾・タイの4市場での旅行会社向けセミナー及びセールスコール実施
 - ・米国旅行博(LATAS) への出展、台湾大商談会の開催
 - ・スペイン・イタリア・ドイツ・フランス・米国等から有カランドオペレータや海外メディアを招いたファムトリップを実施
- ③国内の大規模イベントへの出展（VJTM2022及びツーリズムEXPOジャパンへの出展）

〔2〕地域を磨く・つなぐ

- ①地域と連携した「ルート」づくり“THE EXCITING KANSAI”の推進
「伊勢～奈良」「福井～琵琶湖東岸～伊賀」の2ルートの商品造成により関西広域観光8ルートの基本的な整備を推進。ルートを跨ぐ「徳島～加太」「若狭～京丹波」「三重～滋賀」の3コースを造成
- ②関西広域観光デジタルマップの推進、西日本の広域連携DMO間の連携協力の枠組み作りに着手

〔3〕新たな魅力を創る

- ①“KANSAI”の食のツーリズム化促進事業
万博を見据え、御食国(京都・福井・滋賀) 酒ツーリズム(兵庫・徳島) 発酵ツーリズム(奈良・和歌山) を選定し地域とともに旅行商品を造成
- ②関西空港を起点とした大阪湾の海上周遊4ルート造成に着手（近畿運輸局との連携事業）
- ③サステナブル・ツーリズムを推進するため、2府8県におけるコンテンツ調査を踏まえた戦略策定を実施
- ④酒蔵ツーリズムの推進

〔4〕観光のパラダイムシフトへの対応と観光インフラの強化

- ①「The KANSAI Guide」を活用したマーケティングダッシュボードの開発・運用
- ②通訳案内士・ホテルコンシェルジュ スキルアップ、ネットワーク構築事業

〔5〕事業推進のための基盤事業／各種イベントの実施

- ①「関西インバウンド交流会2023」開催
- ②第20回関西文化の日、第20回関西元気文化圏賞

〔6〕万博プラス関西観光推進事業／関西ツーリズムグランドデザイン2025の推進

関西観光情報発信サイト「The KANSAI Guide」の充実強化

訪日旅行者に対し、関西の魅力を伝える観光ポータルサイトとして2019年に開設。同サイトへ海外旅行検討層を誘引し、関西への訪問意向を向上させることで渡航地に関西を選んでもらうため、また滞在日数増を図るため、地域に点在する観光情報の魅力発信に注力して、訪日旅行者の関西広域観光推進を目指す

- 2022年度は、2025年大阪・関西万博に向けて2021年12月に全面リニューアルオープンした関西インバウンド観光サイト「The KANSAI Guide」のSEO対策※強化の効果が継続的にもたらされたほか、日本政府観光局（JNTO）による広域連携DMO支援事業の効果もあり、サイト訪問者数およびページ閲覧数が大幅に増加

※ SEO（Search Engine Optimization）対策：Google等の検索エンジンの検索上位にサイトが表示されるようサイト内容を最適化すること

<2022年度実績>

サイト訪問者数（UU数）	817,544（前年比126.2%）
内オーガニック検索流入数	324,003（前年比365.1%）
ページ閲覧数（PV数）	1,663,129（前年比156.1%）

<2021年12月24日に全面リニューアル>

- ・サーバー移転＋SEO対策
- ・新たにドメインを国際ドメインの「.com」に変更
- ・見やすい・使いやすいサイトへ



- 2018年度から実施している「訪関西意向率調査」の2022年度版データによると、戦略ターゲットである欧米豪訪日検討層の「関西」認知率は50.4%から63.1%、来訪意向率は34.1%から40.6%といずれも上昇

重点市場における海外プロモーション

旅行会社向けセミナー、セールスコールの実施

2022年10月の水際対策緩和を踏まえ、プロモーション活動を再開し、「伊勢～奈良」「福井～琵琶湖東岸～伊賀」「徳島～加太」「若狭～京丹波」など広域観光ルート商品PRのため、英・仏・台湾・タイの4市場での旅行会社向けセミナー、セールスコール実施

イギリス・フランス市場向け(2023年2月)

- 観光庁補助事業
- フランス・パリ市内にて旅行会社・トラベルデザイナー・メディア・JNTO・航空会社25名、イギリス・ロンドンのジャパン・ハウス・ロンドンでは40名対象にセミナー実施
- パリの旅行会社7社、ロンドンでは9社を訪問し、関西の広域観光、特別文化体験等のコンテンツを紹介



台湾市場向け(2023年3月)

- 観光庁補助事業
- 台湾市場で訪日旅行を取扱っている40社強の旅行会社にセミナーを実施し、そのうち特に当該商品に関心の高かった旅行会社7社に対しセールスコールを実施



タイ市場向け(2023年2月)

- 観光庁補助事業
- タイ市場で訪日旅行を取扱っている30社強の旅行会社にセミナーを実施し、そのうち特に当該商品に関心の高かった旅行会社7社に対し、セールスコールを実施



重点市場における海外プロモーション

2月には米国旅行博（LATAS）へ出展したほか、3月には台湾大商談会を3年ぶりに現地で開催

米国旅行博「Los Angeles Travel & Adventure Show（LATAS）2023」への出展

- 2023年2月18日～19日の日程で、ロサンゼルスで開催された米国屈指の旅行博「LOS ANGELES TRAVEL & ADVENTURE SHOW 2023」に、参加希望府県市と共同出展
- 2025年大阪・関西万博の紹介とともに、関西各地の魅力と広域観光ルートについて訴求
- 航空会社や旅行代理店、各国政府の観光局等も出展し、情報収集等が行われることから、有力旅行代理店との商談を実施



3年ぶりに現地にて台湾大商談会を実施

- 2023年3月6日～7日の日程で、第9回となる台湾大商談会を3年ぶりに高雄・台北にて開催
- 参加者数は、関西11府県市の自治体・DMO・観光宿泊事業者等66団体110名、台湾側 現地の旅行会社等124社171名、商談数は、1,086商談(2都市計)



台湾インフルエンサー向け観光セミナー

- 2023年3月7日、関西広域連合・近畿運輸局と連携し、台湾・台北にて、台湾のタレント・インフルエンサーを招請した観光セミナーを開催
- 関西広域連合の進行のもと、京都府、ひょうご観光本部、大阪観光局、奈良県、和歌山県、鳥取県、福井県観光連盟、神戸観光局の外客誘客担当者による観光プレゼンテーションや交流会にて個別のコンテンツを紹介するなど、インフルエンサーがSNS発信するための素材提供に努め、数多くの記事配信に繋がった

重点市場における海外プロモーション

有カランドオペレータや海外メディアを招いたファムトリップ実施

地域や会員企業等協力のもと、スペイン・イタリア・ドイツ・フランス・米国等の有カランドオペレータや海外メディアを招いたファムトリップを積極的に受け入れた

スペイン ランドオペレーターファム(7月)

- 奈良県、奈良ビジターズビューロー連携
- スペインの訪日旅行取扱人数ナンバーワンであるイベロ・ジャパンに奈良県の宿坊や寺院での体験や相撲や日本刀など日本文化に触れる体験を実施



イタリア ランドオペレーターファム(9月)

- 福井県連携
- 在京イタリア大使館やJNTOローマ事務所とも太いパイプをもつMTJ社に対し、禅・伝統工芸・自然をテーマとしたファムを実施



ドイツ旅行社&スイスメディア対象ファム(9-10月)

- びわこビジターズビューロー、姫路観光コンベンションビューロー連携
- ドイツ語圏向け訪日ツアーの企画販売旅行会社 Albrecht & Albrecht-Kojima GbR とスイスの雑誌“Schweitzer Familie”のジャーナリストファム



スペイン人インフルエンサーファム(11-12月)

- 奈良県、和歌山県、近鉄グループ連携
- スペイン主要テレビ局テレシンコ・メディアセットのジャーナリストを奈良県明日香村・奈良市・大阪市に招請した情報発信ファム



フランス市場向け旅行社ファム(12月)

- ひょうご観光本部連携
- 仏語圏からの訪日旅行を専門に扱うフランストラベルセンターを招請し、姫路市・豊岡市・神戸市の滞在圏を意識したファムを実施



在UAE日本人インフルエンサーファム(12月)

- 京都府連携
- ドバイ政府公認インフルエンサー マンスール氏を起用し、中東でも人気の高い京都エリアの伝統工芸や観光コンテンツを取材



重点市場における海外プロモーション

有カランドオペレータや海外メディアを招いたファムトリップ実施

マイクロネシアメディアファム(1月)

- ユナイテッド航空連携
- 米国富裕層を意識したスピリチュアルの世界観と関西の“食”をテーマとしたグアム・サイパン等マイクロネシアメディアファム
- 現地TV局1社、新聞2社、米軍専門誌1社を招請、大阪・京都をベースに和歌山・奈良等を巡り、帰国後現地メディアに大きく取り上げられた



イタリア人インフルエンサーファム(2月)

- 京都府観光連盟、京阪ホールディングス等連携
- ファッション系の投稿も多いイタリア人インフルエンサーSABRINA MUSCO氏を招請し、京都市とその近郊を巡るファムを実施



富裕層に特化した旅行会社ファム(2-3月)

- 福井県、奈良県、近畿日本鉄道連携
- 富裕層に特化したSENTIO社の代表を招請した旅行会社ファム
- 福井・奈良を巡り、歴史、自然、寺社、伝統工芸体験、高級和風旅館等を紹介



外国人留学生による「KANSAIファン・モニター・ツアー」を琵琶湖・淡路島で実施

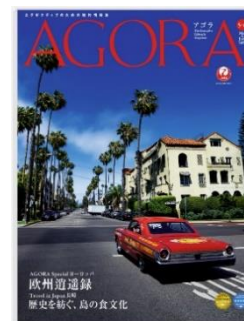
- びわこビジターズビューロー、淡路島観光協会および近畿運輸局の協力の下、関西国際大学国際コミュニケーション学部観光学科で選抜された留学生による、琵琶湖・淡路島それぞれを巡るモニター・ツアーを2022年8月9日～10日の日程で実施
- 関西で学ぶ留学生が「関西のファン」目線で、琵琶湖・淡路島の魅力を体感し、SNSを通じて動画配信



様々な機会を通じた関西広域観光8K動画の上映等

機内におけるオンライン特別文化体験動画（京都篇）の上映等

- 日本航空のご協力のもと、2023年1月1日～3月31日の間、国内線および国際線 JALグループ国内線個人画面ビデオプログラム、個人デバイス前方スクリーンにてオンライン特別文化体験動画の京都篇を上映
- 機内誌「SKYWARD（発行部数未公表）」5月号、会員誌「AGORA（88万部）」5-6月号にて関西の“本物”、“唯一”のコンテンツに特化した情報である“Premium関西”を紹介



国内外の家電量販店TV売場にて当本部8K動画を上映

- REGZA新製品TVのデモ映像として当本部の関西広域観光8K動画が採用された。これにより、国内主要家電量販店2,574店舗のTV売場にて上映された（2022年4月～2023年3月）
- 海外においても、タイ、マレーシア、インドネシア、ベトナム、インド、シンガポール、台湾、ブラジル、アジア新興国、豪州、欧州・中東・アフリカ他の家電量販店TV売場にて上映中（2022年10月～）



国内の大規模イベントへの出展

9月のツーリズムEXPOジャパン2022、VISIT JAPAN Travel & MICE Mart 2022、12月にUNWTOガストロノミーツーリズム 世界フォーラムに出展し、“KANSAI”や2025年大阪・関西万博をアピール

VISIT JAPAN Travel & MICE Mart 2022への出展（2022年9月）

- 2022年9月22日～24日、東京ビッグサイトで開催され、今回はオンライン商談に加え、3年ぶりにリアル商談も組み合わせた形で実施
- 欧米豪や東・東南アジアの旅行会社に対し、広域観光ルート「THE EXCITING KANSAI」のコアエリアと8つのエリア、10府県で造成した特別文化体験とともに、2025年に控えている「大阪・関西万博」など、ディスティネーションとしての“KANSAI”をアピール



ツーリズムEXPOジャパン2022にて“THE EXCITING KANSAI”をPR（2022年9月）

- 2022年9月22日～25日、東京ビッグサイトで開催
- 関西ブロック広域観光振興事業推進協議会と協働し、広域観光ルート「THE EXCITING KANSAI」ブースを出展した他、2025年大阪・関西万博のPRや動画の配信を行う
- 9月24・25日の一般日には、構成府県ブースを巡る「KANSAIデジタルスタンプラリー」を実施（約1,800名参加）



その他事業の実施

関空での訪日観光本格再開ウェルカム・イベント（2022/10/11）

- 2022年10月11日から個人旅行を含む観光目的の入国が本格的に再開されたことを受け、訪日外国人の関西の玄関口である関西国際空港において、近畿運輸局、自治体、観光事業者と当本部が共同して、おもてなしの気持ちを込めたウェルカム・イベントを開催



台湾・新光三越百貨店での関西観光特展ブース出展

- 関西国際空港全体構想促進協議会との連携のもと、台湾新光三越百貨店が主催する「日本商品展」に関西観光特展ブースを出展し、関西各地の魅力や関西国際空港へ就航しているエアラインを紹介した
- 開催場所および期間：新光三越 台中中港店 ：2022年10月14日～ 10月26日
 新光三越 台北信義新天地 ：2022年10月20日～ 11月 6日
 新光三越 台南新天地 ：2022年11月17日～ 12月 4日

UNWTOガストロノミーツーリズム 世界フォーラムにブース共同出展（2022年12月）

- 2022年12月13日～14日、奈良県コンベンションセンターで開催された国際会議「第7回UNWTOガストロノミーツーリズム世界フォーラム」に、関西経済連合会・関西広域連合と共同出展
- ブースでは、動画やQRコードを活用。広域観光ルート「THE EXCITING KANSAI」や酒蔵ツーリズム等の紹介や、ハラル対応等、食の多様性についてのデモンストレーションを実施



地域と連携した「ルート」づくり“THE EXCITING KANSAI”の推進

関西のコアエリア（京都、大阪、神戸、奈良）を起点に8つの広域観光ルートの形成を図る“THE EXCITING KANSAI”の取り組みを進めている。具体的には、自治体、地域・地域連携DMOや企業などと連携して地域の価値やコンテンツを洗い出し、広域観光ルートを巡る旅行商品の造成、および、旅行者の興味や関心を惹きつける動画等を制作し、Webサイト等を通じて情報発信を行っている



コア
エリア

京都
大阪
神戸
奈良

	エリア名	コンセプト	主な府県
1	山陰海岸	海岸の美と恵	福井、京都、兵庫、鳥取
2	播磨	名城と京への道	兵庫
3	琵琶湖西岸～福井	水と生きる地	福井、滋賀
4	紀伊半島	巡礼の道	三重、奈良、和歌山
5	奈良～伊勢	神話から古代の道	三重、奈良
6	神戸～淡路島～徳島	神話と海の架け橋	兵庫、徳島
7	丹波	実りの里山	京都、兵庫
8	福井～琵琶湖東岸～三重	侍と工芸の地	福井、三重、滋賀

- 2021年度までに商品造成した6ルートに加え、「奈良～伊勢」、「福井～琵琶湖東岸～三重」の2ルートの商品造成を行い、広域観光8ルートの骨格が概成。また、ルートを跨ぐ「徳島～加太」、「若狭～京丹波」、「三重～滋賀」の3コースを造成し、ルートの深化を進めた

2023年度は、概成した広域観光ルートの磨き上げ、和歌山県南部(熊野古道大辺路・南紀熊野ジオパーク) から三重県南部(東紀州・伊勢志摩) にかけてのエリアを対象とした周遊ルートを造成予定

関西広域観光デジタルマップの推進

- 一般社団法人関西イノベーションセンター及び株式会社 Strolyを支援し、関西エリア一円の観光情報を広域デジタルマップにより提供する「関西広域デジタルマッププラットフォーム」事業を推進
- 2023年3月にはデジタルマップβ版が完成したことから、今後は、より多くの自治体・観光協会・事業者に参加を呼び掛け、旅ナカでの情報発信強化を図っていく



西日本の広域連携DMO間のマルチの連携協力の枠組み作りに着手

- 西日本の拠点としての“KANSAI”の形成に向けて、西日本の広域連携DMO（四国、山陰、せとうち）間のマルチの連携協力の枠組み作りに着手

2023年5月 山陰インバウンド機構、四国ツーリズム創造機構、せとうち観光推進機構、関西観光本部の広域連携DMO4者による連携協定を締結

2025年に向けた事業

- 文化サイト統合、「The KANSAI Guide」への移設事業
- 文化施設を巡るミュージアムパスのデジタル化事業

“KANSAI”の食のツーリズム化促進事業のための戦略調査

- 万博を見据えた食のテーマツーリズムとして、御食国(京都・福井・滋賀)・酒ツーリズム(兵庫・徳島)・発酵ツーリズム(奈良・和歌山)を選定し、地域とともに旅行商品を造成
- モニターツアーを通じた意見の収集やWebアンケートを通じた旅行商品の磨き上げを実施
- 関西一円の食文化を束ねて発信するWebページ「KANSAI食のツーリズム」を制作、OTAを通じて3旅行商品の販売を開始



関西空港を起点とした大阪湾の海上周遊4ルート造成のための連携

- 近畿運輸局、兵庫県等との連携事業
- 海の万博でもある2025年大阪・関西万博を見据え、インバウンド観光客を対象に、海上観光コンテンツとして目的地や万博会場へのアクセスも兼ねた周遊クルーズルートを構築するため、関西国際空港等を起点とした4ルートで実証実験を行い、需要や課題等の検証を実施

サステナブル・ツーリズム推進のための2府8県におけるコンテンツ調査を踏まえた戦略策定

- 自治体から推薦のあったサステナブル観光コンテンツについて、インバウンド専門家による選定、現地視察等を踏まえて各コンテンツの磨き上げポイントを整理し、地域へフィードバックを実施

御食国ストーリー・ターゲット設定・情報発信プラットフォーム構築

御食国（みけつくに）の歴史を持つ京都府・兵庫県・福井県・三重県が協議会を設け、ブランドとして観光振興を行ってきた。今年度から当本部が事務局として参画、ツーリズム化を目指している

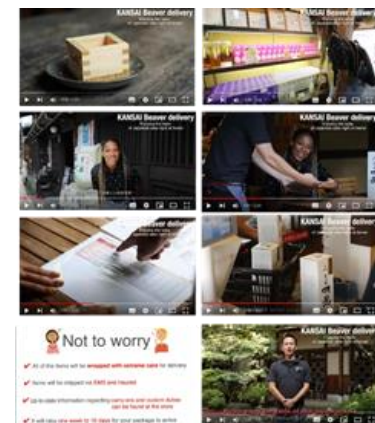
- 万博を見据えた中長期視点で、京都・若狭・淡路島・伊勢志摩の食文化や歴史的背景等をストーリー化、御食国ブランドとして確立をめざす
- 御食国全体・地域毎のストーリーをまとめ、国内外へ情報発信するプラットフォームを構築(日本語・英語)



酒蔵ツーリズムの推進

国税庁との連携事業として、関西の酒蔵を体験型コンテンツとして磨き上げ、体験と販売を一体的に提供する「酒蔵ツーリズム」を推進している。今年度は、これまでに構築した海外別送の仕組みの普及促進と実証実験対象国の拡大、関西の通訳案内士等を対象とする人材育成とガイドツアー造成を実施

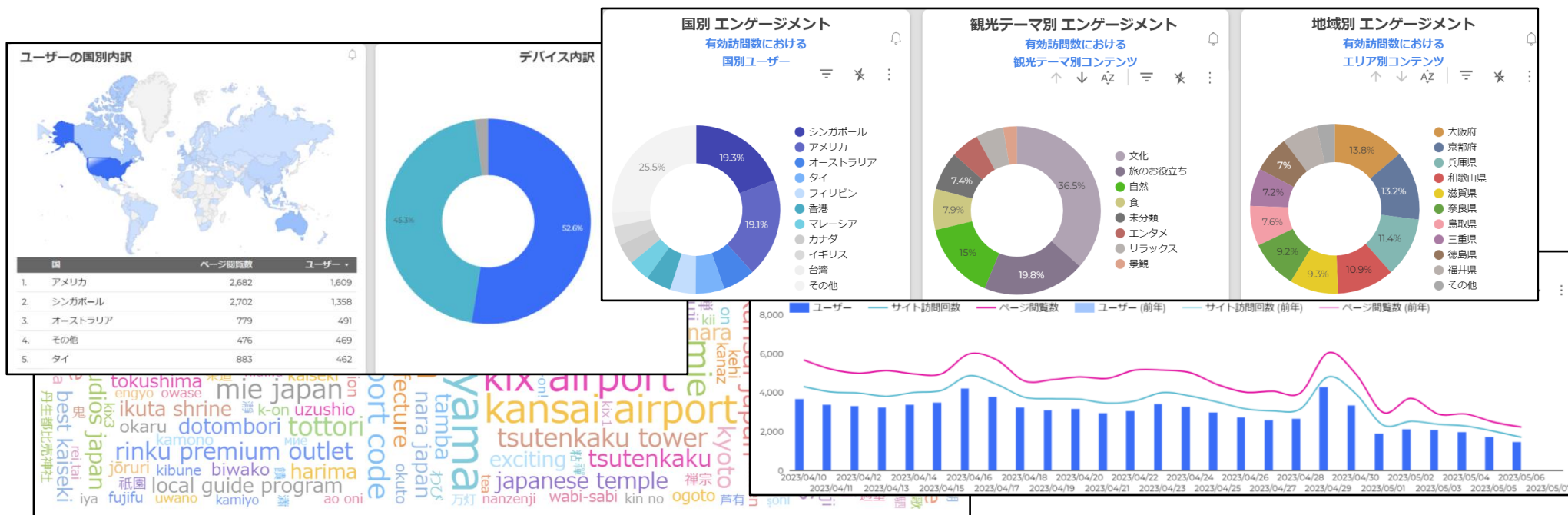
- 簡易な海外別送の仕組み「KANSAI Beaver Delivery」の酒蔵ツーリズム関係者に対する普及促進を図るため、動画制作・提供やワークショップを開催
- 関西の通訳案内士等の人材育成とガイドツアー造成促進のため、ワークショップ、ツアー造成、さらにツアー検索サイト「Kansai Recommended Guide」における発信
- 海外別送の課題を解決する簡便な仕組み「Kansai Beaver Delivery」の対応力を更に強化。欧州3カ国（イタリア、フランス、スペイン）を加えるとともに、生酒などに対する品質確認のための実証を台湾に対して実施



「The KANSAI Guide」を活用した“KTBマーケティングダッシュボード”の開発・運用

“The KANSAI Guide”の訪問者数増に比例して拡大するOWNデータを分析し、関西観光のマクロ・ミクロの戦略策案に活用するためのツール「マーケティングダッシュボード」を開発、運用を開始した

- 外国人観光客を各地域へ効率的に誘客するためには、外国人観光客のニーズを的確に把握し、各地域の観光資源とのマッチング度を向上させる課題がある。それら課題の解決サポートするために開発した「KTBマーケティングダッシュボード」は、訪日旅行検討層が“The KANSAI Guide”を訪問する際に検索したキーワード、訪問者のサイト内地域コンテンツへのアクセス状況等が分かる行動履歴データ、訪問者の属性等が分かるアクセスデータを分析することにより、市場ごとのニーズや傾向などを把握するための分析ツールである



2023年度上期中に、地域の誘客戦略策案等に活用いただけるよう、マーケティングダッシュボードの閲覧権を構成府県市へ付与

通訳案内士のスキルアップ事業の実施

通訳案内士は、観光の重要な人的インフラであり、富裕者層とのアクセスチャンネルとしても期待できるため、当本部では通訳案内士のスキルアップ研修等の支援を継続的に行っている

- 「通訳案内士スキルアップ研修」は、“お祭り”、“高額消費者層向け”をテーマにセミナー動画を制作、専用サイトから配信(全12講座)
- 「山陰海岸ジオパーク」「丹波篠山」などをテーマに実地研修やファムトリップ、ワークショップを実施(全11回)
- ツアー検索サイト「Kansai Recommended Guide」を活用した、通訳案内士によるプライベートツアーの企画・造成・販売に対する支援



ホテルコンシェルジュ・通訳案内士・地域観光事業者との交流会の実施や情報共有プラットフォームの提供

ホテルコンシェルジュは、旅行者と直接接点を持つ観光人材であり、2020年度以降、近畿運輸局と連携し、ホテルコンシェルジュ間およびホテルコンシェルジュと観光コンテンツ提供者間のネットワーク構築強化を進めている

- ホテルコンシェルジュ・通訳案内士・地域観光事業者間の交流会の開催(全8回)
- 関西のおすすめガイド・おすすめガイドツアー、エリア別情報を集約した、情報共有プラットフォームの構築・整備
- ホテルコンシェルジュから見る旅行者ニーズを紹介する動画やインバウンド宿泊顧客等への案内にも活用できる動画を作成(全9本)



関西インバウンド交流会2023（2023/3/27）

会員間の相互交流を行い、関西のインバウンド誘致活性化をアシストすべく、関西インバウンド交流会（セミナー・ブース出展・ネットワーキング）を開催

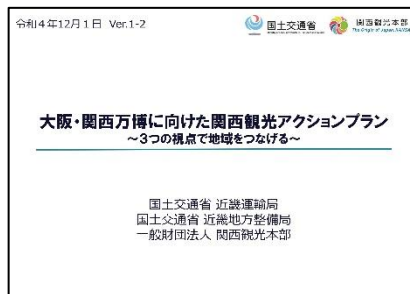
- 自治体、地域・地域連携DMO、観光事業者等が集まり、セミナーや商談会を通じて関西のインバウンド誘致活動の活性化を図る「関西インバウンド交流会」を4年振りにリアル開催（2023年3月27日、グランフロント大阪 イベントラボ、申込数は173名）
- 観光庁及びJNTOの実務トップから国の政策やプロモーションの現状と今後について紹介いただいたほか、2025年大阪・関西万博についての講演会を開催。また、当本部職員による事業報告に加え、「食」をテーマにした事例紹介を通じたパネルディスカッション。「ビジネス交流会」や希望する会員向けに「商談・PRブース」を設けた



国・自治体・事業者との連携

大阪・関西万博に向けた関西観光アクションプラン

- 2022年6月、近畿地方整備局・近畿運輸局との間で、国が支援・実施する取組みの基本的な方向性と重点的に取り組むべき事業等を取りまとめた（2023年8月に改訂版をリリース）



Mastercardと戦略的パートナーシップを締結

- 2023年2月21日締結。関西のインバウンドの量的拡大と高額消費者層等の取り込みの促進のための事業、旅行消費を増加させるための活動を協力して推進する



関西文化の日

- 関西文化の日は、毎年11月中旬の土日を中心日として、関西2府8県4政令市の域内にある美術館・博物館などの文化施設の入館料（原則として常設展）を無料とする取組みである
- 「関西文化の日」等に参加の文化施設の情報は、関西の芸術文化情報発信サイトWebサイト「関西文化.com」(<http://www.kansaibunka.com/>)にて通年で公開



関西元気文化圏賞

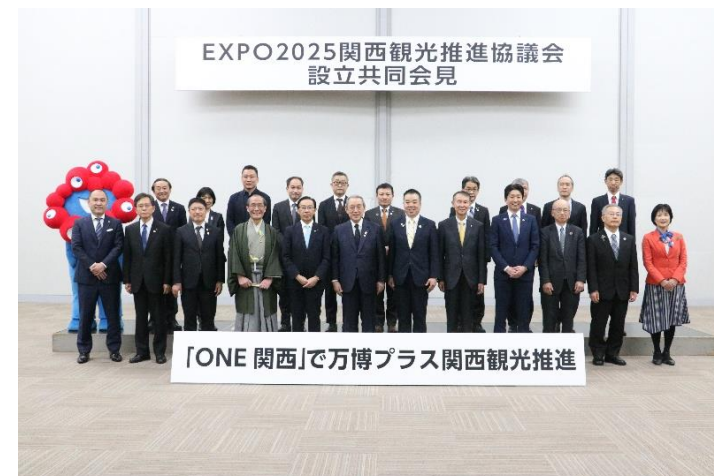
- 関西元気文化圏賞は、その年に文化・芸術活動やスポーツ等を通じて「関西から日本を明るく元気にする」ことに貢献した幅広いジャンルの人物・団体を表彰する事業であり、2003年から実施している

大 賞	大阪中之島美術館
特別賞	大阪・関西万博公式キャラクター「ミャクミャク」／山下 浩平 公益財団法人鷹山保存会 生駒高等学校野球部・天理高等学校硬式野球部 オリックス・バファローズ
ニューパワー賞	桂 二葉（上方噺家） 今村 翔吾（小説家・書店経営者）



万博プラス関西観光推進事業の推進

- 大阪・関西万博を契機に「万博会場から地域へ」というテーマを共有し、広域観光の促進を通じて、万博開催の効果を関西一円に波及させるため、官民一体となって「万博プラス関西観光推進事業」を実施することとなり、その推進母体として「EXPO2025関西観光推進協議会」が設立された（3/23）
- 構成団体は、関西2府8県4政令市、企業、関西広域連合、関西経済連合会、関西観光本部は事務局として同事業を推進する



関西ツーリズムグランドデザイン2025

- 大阪・関西万博が開催される2025年を目標年次として、関西が目指す姿や基本戦略等を取りまとめた「関西ツーリズムグランドデザイン2025」を関西のインバウンド観光振興を担う主体とともに2022年3月に策定した。2022年度2025年までに、関西の観光に携わる各主体が「ONE関西」として、3つの基本戦略と4つのアクションに基づき、“KANSAI”がグローバル・ツーリズム・デスティネーションとなることを目指している
- 実施初年度である2022年度は、4つのアクションを実現するための事業に取り組んだほか、成果指標として今後基準となる「幸福度調査」を実施





KANSAI Tourism Bureau
The Origin of Japan, KANSAI

一般財団法人 関西観光本部

〒530-0005 大阪市北区中之島2丁目2番2号 大阪中之島ビル7F

代表06-6223-7200 / FAX 06-6223-7205

<https://kansai.or.jp/>

